

令和3年度 花き地方卸売市場取引業務運営委員会 <会議録>

会議名	令和3年度 岡山市花き地方卸売市場取引業務運営委員会
会議日時	令和3年10月5日(火) 10:28~11:23
会議場所	管理棟 3階 大会議室
出席者	<p>【花き地方卸売市場取引業務運営委員】</p> <p>矢野泉委員(広島修道大学 副学長)</p> <p>川崎敦史委員(全国農業協同組合連合会岡山県本部 農産・園芸部長)</p> <p>香川智恵委員(岡山市連合婦人会 理事)</p> <p>井波恒雄委員(岡山総合花き株式会社 代表取締役)</p> <p>難波清徳委員(岡山花卉仲卸協同組合 理事長)</p> <p>服部和文委員(岡山県三栄生花商業協同組合 理事長)</p> <p>日下泰子委員(岡山花き精算株式会社)</p> <p>【欠席】</p> <p>鈴木美代子委員(岡山県花き消費拡大実行委員会 委員)</p> <p>【開設者(事務局)】</p> <p>大杉市場事業管理者、小川市場事業部事業長、原総務担当課長、菅野業務担当課長、中山担当課長補佐、藤井担当課長補佐、服部主査、宇佐見主事</p>
提出資料	<p>○取引業務運営委員会資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員名簿 ・岡山市花き地方卸売市場業務条例(抜粋) ・令和2年度岡山市市場事業会計決算の概要について(経常収支) ・令和3年度の事業実施状況について ・岡山市卸売市場経営戦略(案)の概要について ・ご意見

会議内容

1 開会

●司会(事務局・小川)

それではただいまから、令和3年度取引業務運営委員会を開会いたします。

本来であれば、本委員会の会長に議長をお願いするところでございますが、会長選任がまだでございます。それまでの間、事務局の方で進行させていただきます。私は事業長の小川でございます。よろしくお願いいたします。それでは座って進めさせていただきます。

まず、本日の出席委員数でございますが、8名中7名出席されております。業務条例第74

条第2項の規定によりまして、会議が成立しておりますことを報告いたします。

またこの取引業務運営委員会でございますが、基本的には公開で行うこととなります。そのため、本日お示ししております名簿、それからご意見については、市のホームページ等で公開させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

2 市場事業管理者あいさつ

●司会（事務局・小川）

議事に入る前に、大杉事業管理者からご挨拶申し上げます。

●大杉市場事業管理者

はい。皆さんおはようございます。市場事業管理者の大杉です。本日はお忙しい中、この取引業務委員会に参加していただきまして、誠にありがとうございます。この委員会は昨年の業務条例改正に伴いまして、旧条例の開設運営協議会と市場取引委員会を一つにして設置したもので、この岡山の市場の取引及び運営について皆様からのご意見をいただき、ご議論していただくものであります。よろしく申し上げます。

まず、市場を取り巻く環境についてですが、もう皆様ご存知の通り、年々厳しさを増してですね、また変化をしております。市場を通る荷物の経由率は低下の一途を辿っており、現状を打開するには、新たな戦略が必要と考えております。本日の議題の一つである、経営戦略（案）については、ぜひ皆様のご意見をいただきたいと考えております。よろしく申し上げます。

それから、新型コロナウイルス感染症についてですが、取引については、ホテルや飲食店等業務筋からの受注が低迷して、取引先によっては、減少している場内業者の方も多いと憂慮しております。感染症対策につきましては、国・県による様々な対策が講じられておりますが、当市場におきましても、昨年度に引き続き、特に影響の大きかった卸売業者、仲卸業者を対象に、卸売市場施設使用料の支援給付金の支給を行い、市場機能の維持に努めております。

この市場の方向性についてですが、昨年6月には、先ほど言いましたように市場法の改正がありました。取引に関する規制が大幅に緩和され、そのことによって、集荷力の強化や物流の効率化が図れることによって、市場取引が活性化されて、魅力のある市場になるような取り組みを、本市場も行っていく必要があると考えております。さらに中四国の結節点という、岡山市場の立地を生かして、県内、県外市場との広域的な市場間連携による食料品等の流通拠点化を目指していきたいと考えております。また、この市場のPRにつきましても、市場の関係者の皆さんと知恵を出し合って、市場の認知度向上のために、取り組んでいく必要があると考えております。

最後に、今後もこのコロナウィルスという見えない敵と上手につき合っていかなければいけないと考えております。この市場、市民の台所としての卸売市場であることを常に念頭に置いて、生鮮食料品等の安定供給を今後も努めていくことを約束させていただきまして、挨拶とさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。

●司会（事務局・小川）

はい。それでは続きまして、新たに委員にご就任いただいた方々を紹介させていただきます。お手元にございます、委員名簿をご覧ください。

[委員紹介]

3 議事

(1) 会長の互選について

●司会（事務局・小川）

それでは議事に入ります。議事の1、会長の互選についてでございますが、業務条例第73条では、委員会に会長を置き、委員の互選によってこれを定めるという規定がありますので、会長の選任をお願いいたします。立候補推薦等、ご意見等ございませんでしょうか。

●A委員

推薦であります、広島修道大学の矢野先生、矢野委員に会長をご推薦いたします。よろしく申し上げます。

●司会（事務局・小川）

はい。ありがとうございます。ただいま、矢野委員を会長へというご意見ございましたが、他にご意見ございませんでしょうか。

よろしいですか。他にご意見がないようですが、矢野委員に会長をお願いしてよろしいでしょうか。ご賛同いただきましたら、拍手をもって承認をお願いします。

(拍手)

ありがとうございます。それでは会長を矢野委員にお願いしたいと思いますが、お引き受けいただけますでしょうか。

●B委員

謹んで。

●司会（事務局・小川）

ありがとうございます。それでは会長に選任されました矢野委員は、こちらの会長席の方にご移動お願いいたします。

それでは矢野会長から一言、ご挨拶をお願いいたします。

●矢野会長

はい。今ご紹介に預かりました、会長の方に選んでいただきました矢野と申します。広島市にあります広島修道大学という私立の大学で、農産物の流通を専門に、研究教育をしております。それ以前はですね、広島大学の方で同じ教育研究に携わっておりました。その頃から、岡山市場さんの方には何度か足を運ばせていただきまして、皆さんと色々と勉強させていただいております。先ほどの管理者のご挨拶にもありましたように、市場を取り巻く環境というのは凄く大変な時代になっております。コロナの影響も、特に花に関しましては催し物の減少により、大きなダメージを受けているというふうにお聞きしております。ですが、それはコロナを除きますと、他の農産水産物と違って、生鮮食料品自体の消費というのはかなり落ち込んで、加工食品へのシフトというのが進んでいるんですけども、花の場合はまた違った動きがあるのではないかと思います。コロナによって、生活の豊かさというのが見直されている中で、花がもたらす日々の潤いと言いますか、そういったところが、卸売市場から発信していくことができるといふふうに、個人的には思っております。なお、岡山県自体も産地をたくさん抱えておりますし、そういった地域と一緒にですね、卸売市場発信の花のある豊かな生活をつくり出す、そういった一つのお手伝いできればと私自身思っております。この会議は基本的に年1回の会議ですけれども、いろんな立場の皆様がご参加いただいておりますので、いろいろな意見交換ができればとも思っておりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

●司会（事務局・小川）

ありがとうございました。それでは、ここからの議事進行につきましては、矢野会長にお願いいたします。

●矢野会長

それでは改めまして議長を務めさせていただきます。次第の前に、業務条例の第73条第3項に、会長に事故ある時は、あらかじめその指名する委員がその職務を代理するという規定に従いまして、職務代理者を指名させていただきたいと思っております。井波委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

（了承）

はい。それでは、よろしくお願いいたします。一言ご挨拶をお願いできますでしょうか。

●井波職務代理者

井波でございます。皆さん、ひとつよろしくお願いいたします。今、会長からも管理者からもあったように、本当にこんなに長引く花業界の負のトレンドと言いますか、非常に厳しい時代が続いております。コロナ禍もあって、ここは本当に山場の時期ではないかと思っております。矢野会長の職務代理として、生産者の皆様や買参人、また市場関係者の皆様、岡山の消費者の皆様に一層役立つように、今会長が言われましたように本当に花のある心豊かな暮らしを推進していくように、職務に尽力していきたいと思っておりますので、ひとつよろしくお願いいたします。

(2) 令和2年度市場事業会計決算の概要について

●矢野会長

ありがとうございました。それでは、議事の方に移りたいと思います。お手元の次第にありますように、議題の(2) 令和2年度市場事業会計決算の概要について、こちらを事務局の方から説明をお願いいたします。

●事務局(原) [資料(令和2年度市場事業会計決算の概要について)説明]

●矢野会長

はい、ありがとうございました。ただいまの事務局からのご説明で、何かご質問ご意見ありますでしょうか。

(質問無し)

私から質問させていただきます。これは中央地方合わせての、市場事業部全体としての報告でよろしいですか。

●事務局(原)

そうでございます。

●矢野会長

委員の皆様の方から、他にご意見ご質問等ございますでしょうか。

●A委員

経常利益の繰越っていうものは、どのようになっていますか。いわゆる経常損益が出た、この金額のことですか。

●事務局(原)

こちらの方ですが、いわゆるここにお示ししておりますのは、経常損益でございます。2年度の場合は特別欠損がありましたので、ちょっと減額になるんですけど、いわゆる純利益部分につきましては、議会の議決を経ることによって、建設改良費の方に積み立てをさせていただける。

●A委員

建物とか、そういうものを建てるための積み立ての資金として取ってある。

●事務局(原)

はい。ここ数年は建設改良費の方に積み立てをしております。

●A委員

それは幾らぐらいあるんですか。

●事務局（原）

今お示ししてありますが、2年度決算の数字でございますので、2年度終了の時点で建設改良積立金の残額は、6億9千3百万でございます。これに本年度の未処分利益の剰余金ということのうち、純利益部分につきましては、本年度建設改良積立金に積み立てるように、8月定例市議会に議案提出をしまして、来週、常任委員会の市民産業委員会が市議会の方で行われるので、そこで決算数字と合わせて、審査をいただく予定で進めております。

●A委員

そしたら、例えばうちの上の屋根を変えたり、耐震工事したりするのは、そこからお金が出ているということですか。

●事務局（原）

単純に積んでるものを使ってるというわけでは、今のところございませんで、こちらの方につきましては、一応、今積んでいる状態でございますが、例えば、一昨年耐震工事をやりましたけれども、あちらの方はいわゆる財源の方でお金を入れたり、補助金があったりということで、いただける財源は模索しながら、お金を何とか時期に融通する形で運用しておりますので、今のところ建設改良積立金を使ってということはない。

●矢野会長

よろしいでしょうか。その他、何かございますでしょうか。

（質問なし）

なければ、次の議題の方に進みたいと思います。

（3）令和3年度の事業の実施状況について

●矢野会長

令和3年度の事業実施状況について、資料を基に事務局から説明をお願いいたします。

- 事務局（原、菅野） [資料（令和3年度の事業実施状況について）、（令和3年度の取扱高について）、（令和3年度市場施設使用料支援給付金支給事業）説明]

●矢野会長

ありがとうございました。ただいま資料に基づきまして、今年度の事業の概要と取扱高、あと助成制度についての、現状をご説明いただきました。委員の皆様から、何かご質問ご意見ありますでしょうか。

国の施策ではですね、なかなかコロナの助成というのは卸売段階っていいですか、この卸売業界にはなかなか目を向けていただけないっていう現状があるかと思imasので、こういった支援給付金支援事業。2回目ということで、いろいろご苦労されていることと思imas。引き続き、何らかの支援。本来であれば、国の方で卸売対策っていうのもやっていただきたいところですけども、重要な事業かと思imas。

他に何かございませんでしょうか。

(質問なし)

なければ、続きまして、議題の(4)になります。

(4)岡山市卸売市場経営戦略(案)の概要について

●矢野会長

先ほどの事業の概要というところでも出てきましたけれども、岡山市卸売市場経営戦略(案)の概要について、事務局から説明をお願いします。

●事務局(原) [資料(岡山市卸売市場経営戦略(案))説明]

●矢野会長

ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明で、何かご質問ご意見ございますでしょうか。今の概要版の方で、大変コンパクトに説明いただいたんですけども、冊子の方でもよろしいので、何かお気づきの点、ご意見等ありましたらお願いいたします。

花きに関しましては、冊子の方の11ページに目標像というのが書かれておりますが、その辺り、もし何かご意見があればお願いします。

●事務局(原)

事務局から補足説明させていただきます。今回お配りしている資料の中に、取引業務運営委員会のご意見をいただくような様式がございます。例示で経営戦略についてと書いてございますが、本日の議題の中で経営戦略にかかわらず、何かご意見ご質問とかあるようでしたら、こちらの用紙を使っていただいて、ファクシミリでございますとかEメールをご利用いただいた上で、今月月末28日あたりまでに、ご意見いただければ、考慮させていただくようなことで、スケジュール的に考えておりますので、今たちまち思い浮かばなくても、そういったことで、ご意見をいただければと思っております。

●矢野会長

ありがとうございました。今日お配りいただいております意見を述べられる用紙も、ぜひご利用いただければと思います。この場での何かご意見はよろしいでしょうか。

(意見なし)

11 ページを拝見いたしますと、花に関しましては目標像の中に、やはり産地や生産者との連携っていうところ、産地市場としての機能っていうものが描かれておりますので、ぜひ川崎委員にもいろいろご意見を、後程で良いのでいただければ、大変うれしく思います。お願いいたします。

個人的な感想ですけれども、私はこういった経営戦略、経営展望にいくつかの市場でかわらせていただいておりますけれども、大変優れていると思うのは、岡山市の長期計画といますか、目標ともリンクさせて市場が位置づけられているという、同じ目標に向かって纏められているというのは、なかなか他のところでは、市場は市場のことでどうしていくかっていうところに、議論が集中しがちなんですけれども、そういったところは良いなというふうに感じておりますので、ぜひ、市と同じような形でですね、前に進んでいければというふうに感じました。

他にはございませんでしょうか。よろしいですか。

●C委員

経営戦略を10年間でということで、総務省の方の指導というようなお話が先ほどあったんですが、この10年間の経営戦略をここで立てた後ですね、例えば、毎年見直してゴールになるとか、3年に1回これをまた経営戦略以外の部分ですね、基本戦略なりもう一度見直すのか、そういうふうなことはあるのでしょうか。

●事務局（原）

ご指摘の通り、立ててしまっただけで終わりでいうわけではなく、特にやはり収支の部分が大きいと思うんですけど、単年度単年度の収支の状況、決算を踏まえまして、今後10年ということで、ここで年度末を目標に一旦計画を立てるんですけども、やはり最新の収支の状況も見ながら、数年に1度、短くても3年に1度ぐらいは、数字の見直しが必要ではないかなと考えております。例えば目標像でありますとか基本戦略につきましては、何か大きな情勢の変化があればですけども、あまりちょっと、変えにくいのかなというところもございますので、基本的には収支関係については、できるだけ細かく見直していくような動きを続けていって、経営戦略ということで考えいこうと思っております。

それから別の動きなんですけど、経営戦略を立てつつ、今後、岡山市中央卸売市場等運営協議会に呼び掛けまして、卸さん、仲卸さん、売買参加者さん。いわゆる市場関係者の皆さまが集う協議会なんですけども、そこに呼び掛けまして、いわゆるちょっと若手の方ですよ。30代40代ぐらいの方を推薦してもらい、20年先の市場はどうなるんだろうって話を議

題としていくような会を作れないかということで、先般の理事会でもお話しをさせていただきましたが、今月も理事会がありますので、そういった会の立ち上げについて、また諮ってまいりまして、経営戦略は10年先まで、その先の市場をどういうふうにしたいのか、意見聴取できればということ考えておりますので、参考までにお知らせしときます。

●事務局（小川）

補足で説明いたします。冊子の24ページをお開きください。下の段にあります、経営戦略の事業検証、更新等に関する事項ということで、10年の間にですね、先ほど申しました、3年程度前期中期後期という形になると思いますが、この間でですね、検証、それから、その都度更新をかけていこうというところを、ここに書いています。PDCAサイクルという考え方に基づいて、どんどんよくしていこうという形でやっていこうと思っています。

●矢野会長

ありがとうございました。ご意見ありがとうございます。私もちょっとその点気になって、あまり細かくいうとなんかなと思ってたんですけども、今ご説明いただいた24ページのPDCAサイクルをまわしていく際には、達成状況の評価をどのように行っていくかというところが、実は、ここをしっかりと設計しておかないと、達成したかどうかわからないまま、前に進めていかなければならないということが、往々にして起こるかと思います。その際に、15ページに基本戦略行動計画というところがあります。先ほど原課長から説明があった、この基本戦略というのは大きくは変わらないであろうと。行動計画についても、変わらない。この方向で、10年間進められていくというのはいいかと思うんですけども、その行動計画一つ一つが達成されたのかどうかを、何で評価するかっていうところが、まだちょっと見えておらず、通常、国や大学とかもそうなんですけど、組織であれば、年度であったり、3年なら3年、中期計画の中で、集荷先の開拓というのであれば、出荷団体や集荷先が何%拡大し、何%という数字でなくても、少なくとも目標値というか、大まかな目標値、販売先販売方法の多様化っていうのも、これを何で多様化を計るのかっていうのが、多少絵が描けていた方が、前期の間、中期の間、どこまで多様化を進められたのか、効率化を進められたのかっていうことがまとめやすいですし、場内の方も、それに向かって決められるのかなど。そのあたりで描かれてはないんですけど、想定されている評価指標が何かあれば。

●事務局（小川）

会長ご指摘の通りですね、そういったところは特に大切なところだと考えているところがございます。今まで10年間やってきました経営展望につきましては、15ページの表に従って、それぞれの力を入れてやっていただく取り組み主体のところ、お願いしてきたんですけど、経営展望の今年が最終年度ということで、そういった辺りを、御さんを中心にお話は聞いたところであります。また、結果的にはですね、なかなか取り組みが進んでいないようなお話を聞いております。ですので、なかなか数値化というのも、今のところ何パーセントとかそういうところが良いのかというのがですね、今のところまだ見い出せていないという

のが現状ではございますので、今後3年後になるかと、更新のあたりまでにですね、そういったところをまた、それぞれ業者さんとお話しながら、出来るところを数値目標を含めて、継続してご相談しながら、決めていければと考えております。

●矢野会長

ありがとうございます。数値だけを追うと、また数値に踊らされる場所がありますので、BCPの策定であれば、最初の3年間はBCP策定に向けて、情報を集めるとか、検討する組織を作るとか、そういった緩やかなものでも良いと思うので、何らかチェックというか、ハードルがあれば良いかなというふうに思いますので、ご検討いただければと思います。

他にございますでしょうか。追加のご質問ご意見は、先ほど説明のありました、紙面の方にてまたよろしく願いいたします。

議題としては、用意したものは以上となっております。議題以外についてですね、その他ということで、せつかくの機会ですので何かご意見等がありましたら、ご発言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは特にご意見等はないようですので、本日の議題はすべて終了いたします。事務局の方から、連絡事項等ありましたら、よろしく申し上げます。

4 その他

●事務局（菅野）

本日はお忙しいところご審議いただきまして、ありがとうございます。本日の会議録につきましては、作成ができ次第、皆様にお送りさせていただきます。また先ほど冒頭に申し上げました通り、ホームページ等で公表させていただきますので、ご了承ください。

先ほど原の方からも説明がありましたが、お手元にご意見書っていうのをお配りさせていただいてます。この場でなかなか意見というのも難しいと思いますので、10月29日までに返信とさせていただいておりますが、持ち帰りになりまして、また会議録を眺めていただいた上で結構ですので、ご意見等があれば、FAXでもメールでもどんな方法でも結構でございますので、事務局の方まで、お送りいただけたら幸いです。

なお次回の委員会。今のところ年1回のペースでしか考えておりませんが、来年のこの時期ぐらいかなと事務局としては予定をしております。近くなりましたら、ご案内をさせていただきますので、よろしく願いいたします。事務局からは以上です。ありがとうございました。

5 閉会

●司会（矢野会長）

それでは本日の令和3年度取引業務運営委員会は、これにて終了いたします。本日はご協力いただきましてありがとうございました。